

河川利用者に対する安全を図るためのハード面とソフト面の充実・強化

●具体的な整備内容

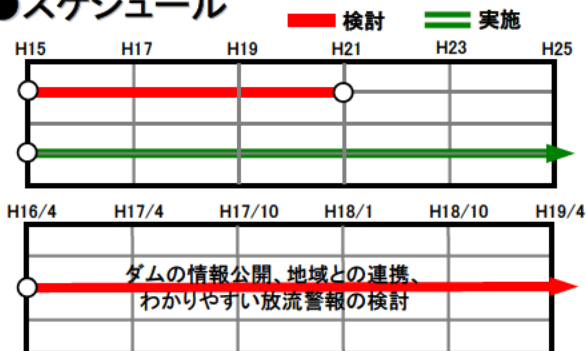
ダムから放流する際に、下流の河川利用者に対する安全を確保するため、放流警報装置や監視カメラ設置などのハード面に加え、沿川自治体や地元警察、消防等との連携によるソフト面での充実・強化をより一層図る。(瀬田川洗堰、天ヶ瀬ダム、高山ダム、青蓮寺ダム、室生ダム、布目ダム、比奈知ダム、日吉ダム、一庫ダム)

●事業の数量・諸元等

●事業費 日吉ダムの事例

量水標 約2,100千円

●スケジュール



●整備効果

・事業効果

①ダム関連情報を通常時・防災時等多面的、広域的に提供することにより、ダム事業の啓発がなされ、特に防災時(異常時)の緊急情報提供に利用できる。

②わかりやすい放流警報の提供により、河川利用者が川の危険性を意識し、安心して利用できる。

・他事業との連携

①地域、警察、消防と連携したソフト戦略により、広報活動の拡大が促進される。

②河川レンジャーによる河川利用者への安全な避難誘導の指導等、ダム管理への支援を行う。

●提案理由(代替案含む)

近年の社会情勢、地域住民の知識・関心の向上に伴い、より迅速な情報伝達が以前にもまして可能となっていることから、防災時等の情報提供も含め、周辺地域への広報活動、安全性の向上が必要と言える。

●委員会等からの意見

ダム放流時に、下流の河川利用者の安全を確保するため、ハード面およびソフト面の充実・強化をはかることは、速やかに実施する必要がある。

ダム放流時に、下流の河川利用者の安全を確保することは、ダム管理者の重要な責務である。攪乱放流の実施などにより、安全対策は従前にもまして徹底する必要がある。警察や水防団・消防等と連携して、有効な伝達システムを速やかに構築するとともに、河川利用者自身の自己責任意識と安全管理意識を徹底させることが重要である。

なお、サイレンについては、信号の意味がほとんどの利用者に理解されていないので、指向性スピーカー方式など音声による案内方法への切替が望まれる。

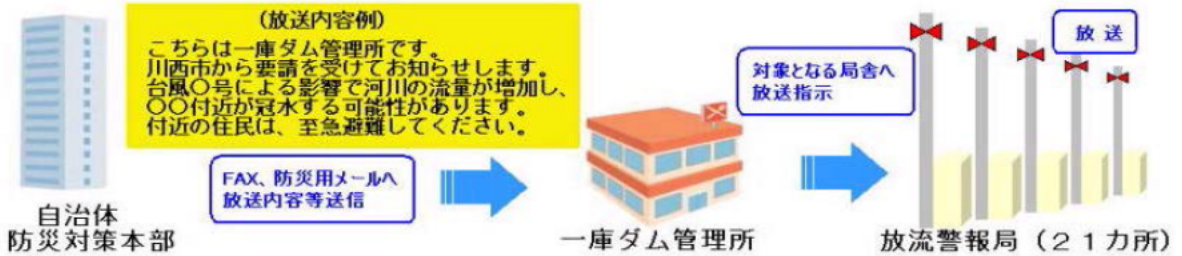
河川利用者に対する安全を図るためのハード面とソフト面の充実・強化

●進捗状況

わかりやすい警報看板を設置するほか、自治体と連携した取り組みも行っています。

自治体と協力して防災体制を充実させます

ダム放流時には、流入量や放流量などを自治体や消防署、警察署等に通知しています。さらに、下流河川に設置したカメラ映像を、インターネットで提供する取り組みも行っています。また、ダム放流警報用のスピーカーを活用し、下流自治体の警戒避難に関する災害情報等を、自治体に代わって放送する協力も行っています。



※)一庫ダムHPより抜粋

●進捗状況

わかりやすい警報看板を設置するほか、自治体と連携した取り組みも行っています。

例)一庫ダム



わかりやすい放流警報板の設置

●今後の見通し

・日吉・一庫・天ヶ瀬・高山・青蓮寺・室生・布目・比奈知ダムについては、よりわかりやすく表示した掲示板等順次整備する予定。